

## 第6回 いわき市台風第19号における災害対応検証委員会議事録

- 1 日 時 令和2年8月18日（火） 午後2時～午後3時50分
- 2 場 所 市役所本庁舎3階 災害対策本部会議室
- 3 出席者
  - (1) 委員 (出席：8名)  
金成克哉、鹿野義明、鎌田真理子、佐藤将文、篠原清美、杉安和也、  
丹野淳、福迫昌之  
※ 50音順・敬称略
  - (2) 事務局 総合政策部 山田危機管理監、鈴木次長  
危機管理課 草野課長、齊藤総括防災対策専門員、  
野木課長補佐、芳賀事業推進員  
保健福祉部 保健福祉課 小島係長  
土木部 河川課 小松課長、小野主幹、山野辺専門技術員  
消防本部 総務課 谷野課長、富谷統括  
警防課 鈴木課長
- 4 会議形式 非公開（冒頭のみ公開）
- 5 会議次第
  - (1) 開会
  - (2) 議事  
最終報告（案）について
  - (3) その他
  - (4) 閉会
- 6 議事  
台風第19号の災害対応に係る検証について  
＜委員からの意見＞
  - 被災者アンケートのところは、福島県全体の値なのか、いわき市だけの値なのか、調査対象が見えない部分があるので、わかりやすい表現に変更したほうがいいのではないか。
  - 水位状況に関して、平窪地区には水位計がなかったことから掲載してないと思うが、平窪などは被害が甚大だったことを鑑み、参考資料として、夏井川がどのような状況だったかという浸水図のようなものを追加したほうがいいのではないか。
  - 気象概況の表現を修正したほうがいいのではないか。
  - 気象警報は解除も掲載したほうがいいのではないか。
  - 地区別総雨量はいつからいつまでのデータなのか明記したほうがいいのではないか。

- 被害状況の写真は、いつどこで撮られたものか掲載したほうがいいのではないか。
- エリアメールをわかりやすい表現にするとあるが、どのように改善するか掲載したほうがいいのではないか。
- すでに取り組んでいるものについては、「実施済」等の記載をしたほうがいいのではないか。
- ハザードマップの改訂に伴って避難所の見直しを行うという文言を掲載したほうがいいのではないか。
- 民間施設等を一時避難場所として取り扱ってはどうか。
- 避難行動要支援者名簿の提供に係る同意率を上げるために、住民に理解を求めていく方法を考えないといけない。
- 「地域との関係性を活かした体制づくり」というざっくりとした文言ではなく、民間企業との連携協定、業務提携など、より具体的な文言に修正したほうがいいのではないか。
- 現地対策事務所や各地区本部に、専門的見地を持った職員を配置してほしい。担当課に回される場合があり、結果的にたらい回しなのかという受け止め方をされてしまう。
- 委員が見学した市総合防災訓練に対する意見は、もう少し詳細に記載したほうがいいのではないか。
- 「台風第 19 号」と「令和元年東日本台風」の表記が混ざっているので、台風第 19 号に統一したほうがいいのではないか。
- 住民への周知啓発に関する部分は、もっと強い表現にしたほうがいいのではないか。
- 災害救助法に基づく「住宅の応急修理制度」については、被災者の視点に立ち、応急修理の対象範囲や限度額等について、実態に即した対応となるよう、国などに対し、働きかけてほしい。
- 国では、「被災者生活再建支援法」の拡充方針を固め、住宅が半壊した一部の世帯にも支援金を支給するとのことだが、台風第 19 号の被災者にも遡及して適用するよう、国などに対し、働きかけてほしい。
- り災の判定基準の見直しについて、国などに対し、働きかけてほしい。
- 台風第 19 号の際の市の支援策を掲載したほうがいいのではないか。

## 7 その他

- 最終報告会について
  - ・ 日時 令和 2 年 8 月 31 日（月） 14 時より

## 8 閉会